

おかげさまで日東精工は 創立80周年を迎えることができました。 これからも、社会貢献、地域貢献に 努めてまいります

日東精工は本年2月に、創立80周年を迎えることができました。当社では今後グローバル展開をより拡充してまいります、その一方で、地域雇用創出という創業の原点を忘れず、これからも本社を京都府綾部市におき地域に貢献してまいります。昨年、綾部市の山崎善也市長による「ふれあい出張市長室」が当社にて開催され、若手・中堅社員と座談会を行いました。今号は創立80周年スペシャルとして、その一部を抜粋し編集してお届けします。



山崎善也綾部市長（以下 山崎市長）：私は綾部中学、綾部高校卒業の『Made in Ayabe』ではあるのですが、18歳のときに綾部を離れ、大学卒業後は金融機関に30年近く勤め、50歳のときに戻ってきました。ですから綾部のことをもっと知りたいと思っています。もちろん、財政などは数字で把握はできますが、市民一人ひとりの息づかい、想いについてはもっと細やかに受け止めていかねばと思っています。市役所に直接、要望や陳情に来られる方の声も大事ですが、ふだん、仕事や子育てでお忙しい、時間に追われていて、市役所に足を運ぶことができない方の声も聞かせていただきたいと願っております。今日は、進学や就職で一度、綾部、あるいは綾部近郊を離れた方が多数ご参加いただいていると聞いています。まず、なぜ綾部に、なぜ日東精工に就職されたのかをお聞かせいただけますか？

日東精工：大学で建築工学を学び、東京の建築設計事務所では働いていました。綾部に戻る直接のきっかけは父が病気になって母から戻ってきてほし

いと手紙をもらったから。妻も東京で働いていたのですが、ほぼ同時期に戻ってきました。綾部に戻るに当たっては仕事があるか不安だったのですが、日東精工は父親、母親ともに働いていたこともあり、畑は違うけれど、一級建築士という経験や資格は生かせると思いアプローチし、縁あって入社。地方の会社ですが、国内、海外の出張も多く、グローバルに仕事をしています。

山崎市長：奥様も綾部の人？ 小学校の同級生!? 純愛ですね!!

日東精工：★私は隣の福知山出身です。地元近辺で、一部上場企業でインターンシップ経験をできるのが日東精工だけだったので、大学3年のときに応募、その後、就活・就職へとつながっていきました。もともと都会志向がなく、田舎の風土が合っているようです。

★私は大学で学んだ情報システムの専門性を活かせる職場もあるということで志望。ベンチャー企業からも内定をもらい迷ったのですが、母親の強い勧めで当社に決めました。

★私は大学では電気電子工学を専攻していました。もともと綾部に戻って暮らしたいというのがありましたし、日東精工は研究開発部門もあるし、実は祖父も父も日東精工に勤めておりましたので、その関係もありました。

山崎市長：親子孫3代で日東精工ですか？ 身近にいろいろと相談に乗ってもらえる人がいるというのは安心でしょう。ただ、ときにはめんどくさくもありですか（笑）。でも、皆さん学んだこと、専門が生かせる場が地元にあったということですね。多くの地方都市が雇用の場が少ない、帰って来たくても働ける場がないという問題を抱えるなかで、日東精工さんのように生産の現場から、開発、システム、総務、営業などフルセットが、しかも東証一部上場というブランドで、地元、綾部にあることを本当にありがたく思っています。

専門性を活かせる職場、日東精工 医・職・住が整った安心な街・綾部

日東精工：綾部市では企業誘致を積極的に行っておられ、工業団地も完売。カルビーさんの新しい工場もでき、ほかにもいろいろな動きが活発化しているようですね。

山崎市長：私が市長になった当初はリーマンショック直後ということもあって求人倍率が0.28倍だったのですが、今は1.7倍です。しかし、それでも加工、組み立てなどのワーカー需要はあっても、研究部門、管理部門などのいわゆるホワイトカラー、文系の仕事はまだまだ限られています。ですから、これからは「なんでもいいからただ来てください」ではなく、「こういった企業に来てほしい」というふうに、誘致の仕方を変えていかなければと思っています。

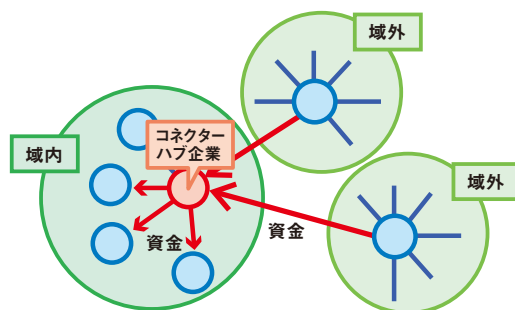
2018年4月に綾部駅北口に「北部産業創造センター（仮称）」を設立しますが、これは新しい商品開発、製品開発、技術開発の研究拠点として企業に利用いただくものです。環境が変わればそれに順応していく必要がありますね。同じところで

安穩としているだけでは国際競争に負けてしまい生き残れない。日東精工さんのねじは一般的な汎用性のあるねじ製造だけでなく、付加価値の高いねじを開発されているから世界で活躍できているわけですね。そんなふうに、新しい事業、チャレンジを支援して雇用を生み出していければと思っています。

日東精工：当社は地域に雇用を生み出すコネクタ―ハブ企業であり、地域創生のモデルとして経産省からも高くご評価をいただいています。

山崎市長：御社の材木社長からは、市外から入ってくる企業も大事だけれど、ずっと地元で長年がんばっている会社にもしっかり目を向けてほしいと言われます。まさにおっしゃる通りですね。たとえば、綾部は自治会が他市に比べてしっかり機能していると評判なのですが、これも日東精工さんやグンゼさんのOBの方々が、しっかり地域のコミュニティを支えてくださっているからです。組織をまとめたリーダー経験のある方がたくさんおられるのも、綾部の魅力・潜在力につながっていくのでしょうか。

その一方で、人口減少の問題がある。お年寄りが亡くなる数のほうが新生児より多いという「自



※「コネクタ―ハブ企業（地域中核企業）」は東京大学坂田一郎教授が提唱したもので、「地域や業種の区分の中で取引が集中する度合い」と「地域や業種を超えた取引を行っている度合い」がともに高い企業とされている。また『中小企業白書2014』で「コネクタ―ハブ企業」とは、『地域の中で取引が集中しており（取引関係の中心となっているハブの機能）、地域外とも取引を行っている（他地域と取引をつなげているコネクタ―の機能）企業』を指し、その中でも特に『地域経済への貢献が高い企業、具体的には、『地域からより多くの仕入を行い、地域外に販売している企業』をコネクタ―ハブ企業としている。

然減」もありますが、若者が街を離れていく「社会減」に対応していかなければなりません。綾部高校を卒業すると、毎年8割が進学などで綾部をいったん離れていきます。彼らが安心して戻って来られる、また新しい方にも移り住んでもらえるように「医・職・住」のインフラや「教育」「情報発信」の環境を整えていきたい。これまで新しく家を建てたくても建てられないという市街化調整区域の線引き（都市計画区域区分）の見直しなどを行ってきました。パソコンでいえば、いろいろなソフト（アプリケーション）の前に、土台となるOSをしっかり整えていきたいと思っています。

ねじ万華鏡がきっかけで おばあちゃんの暮らす綾部に孫ターン

山崎市長：私の知り合いで今春、孫ターン（※自分は生まれ住んでいないが親の実家のある土地に移り住むこと）で、日東精工に入社する人がいると聞きました。

日東精工：ひとり内定者がおります。綾部のおばあちゃんの家遊びに来て、当社の「ねじ万華鏡」を見て志望したそうです。「万華鏡」を覗いて自分の未来が見えたわけです。

山崎市長：「ねじ万華鏡」は、私の母もファンで「あやべ特産館」で何か購入したのですが、リクルートに一役買うとはおもしろいですね。採用という点ではいろいろご苦労もあるのでしょうか？

日東精工：就職のエントリーシートに現住所、自分の連絡先を記入しても、そこで実家まで書かないケースも多い。高校を卒業した後、どこに進学したのか、どこに綾部出身者がいるかを企業の人事部で把握するのは難しいですね。綾部出身者にアプローチができる、行政と連携した仕組みが上手にできればと願います。また、人材は地元出身者だけでなく幅広く求め、いわゆるIターンしてもらわないといけません。就活生の親世代へ企業説明会を行うなど、もっと大々的に広報活動も展開していきたいと思っています。これも一企業だけで



山崎善也綾部市長
綾部高等学校を卒業後、九州大学に進学。卒業後、政府系金融機関である日本開発銀行（現日本政策投資銀行）に入行。在職中にアメリカで経営学修士（MBA）を取得し世界銀行へ出向。経営戦略部長、国際部長などを経て、2010（平成22）年から現職。2018年1月に再選され3期目を迎える。

展開するには限りがあるので、綾部市にも協力いただいて、綾部の地元企業の魅力をアピールする場をもっともっと設けていければと思います。

山崎市長：「将を射んとする者はまず馬を射よ」ですね。皆さんのお話でも、親の勧めで地元綾部という話が最初にありましたが、このお話を聞いて正直、時代が変わったんだなと思いました。私が高校生、大学生のころは都会志向が強く、当時の親や祖父母世代は「外の世界を見なさい」「もう戻ってこなくていい」という声が多かった。綾部市はこの10年「水源の里条例」を制定して、そこに暮らす人が自分のまちを誇りに思える施策を進めています。限界集落、今は水源の里と呼び、



2016年に当社ファスナー事業60周年を記念して限定販売した「ねじ万華鏡」。京都万華鏡ミュージアム、ならびに700年の歴史をもつ綾部の黒谷和紙とコラボしたことで、ねじという工業品が工芸品になったと話題を集めた。再販売の要望も多く、当社創業80周年を記念して、よりバージョンアップしたものを近々販売予定

ここで元気で活躍する80代、90代の方が多いのですが、そのおばあちゃん、おじいちゃんが、かつて自分の子供に「自分の代でこの家も終わりにしていい」と言ったこと、胸を張って自分のまちな魅力が語れなかったことを後悔されていました。ITの発達、あるいは京都縦貫自動道が開通するなど流通面でも便利になった。都市への憧れが幻想だと気づいたこともあるのでしょうか、今は綾部のことを好きだ、綾部の街を誇りに思うという人が多くなりました。

日東精工：山崎市長は毎年、綾部市内の中学3年生に「ふるさと講座」を開催されていますね。そのときのアンケートでも、「いずれ綾部に戻ってきたい」という声が多いとお聞きしましたが…

山崎市長：だいたい7割ぐらいに「帰ってこよう」という意識があるようです。しかし故郷とのつながりが希薄になれば、きっかけを失くしてしまいます。日東精工という会社が綾部にあって、そこに親、友人、先輩、知人が働いていること、これも大きなことです。そして一度、綾部に戻ってきたら、あるいは移り住んだら、そのまま居続け、再度綾部から外へ出ていくという方は少ないのです。もちろん、大都会には刺激もあり、そこにしかない魅力もたくさんあります。歩いて5分のところには24時間営業しているコンビニもあり便利です。しかし、実際、私も長年、そうしていましたが、毎日、満員電車で1時間かけて職場に通わないといけません。

日東精工：いわゆる「痛勤電車」ですね。綾部には「痛勤」がない。10分、20分で会社です。近隣の市や町からも車で30分。どちらが快適か、人間らしい暮らしができるかでしょう。

山崎市長：日東精工さんは増収増益、株価も好調のようですが、上場企業のクオリティを保ちながら通勤地獄のない会社、グローバルな仕事と豊かな自然に恵まれた田舎暮らしが共存できる会社。そして大学生に対しては給付型の奨学金制度も設けられている……、こういったところをもっとア

ピールされてもいいかもしれませんね。

キャリアアップできる場を これからどんどん創出していく

山崎市長：今度、西町アイタウンにスーパーがオープンするのですが、そこに出資されている「オーダーチーズ」という会社は綾部出身の方が社長で、従業員200人のうち9割が女性だそうです。チーズとワインとペットフードなどの通販のベンチャー企業で、若い女性に責任と権限を与え、どんどん海外出張に行かせてキャリアを積ませている。だから、やりがいを求めていわゆるブランド大学、一流大卒の女性が集まってくるようです。今日は女性の方にもご出席いただいています。「女性活躍」という点では、御社はいかがでしょう？

日東精工：現在の従業員の構成比でいえば、女性は16%で多くありません。女性管理職も少ない。社内で女性活躍のプロジェクトを立ち上げ、何が問題かを整理したのですが、そもそも、キャリア志向の女性が多くありません。女性にとって魅力的な会社かどうかという、課題は少なくありません……(笑)

山崎市長：もともと綾部にはグンゼさんがあって女性の働く場が確保できている。では今度は男性の雇用の場をとということで、日東精工が生まれたという創業の原点も関係しているのでしょうか？でも、今は女性だから駄目だ、女性はやれないと限定される職域はないのでしょうか？

日東精工：かつては、女性は事務職として採用していましたが、今は総合職としての採用で、「理系女(リケジョ)」も少しずつですが増えていきます。産機事業部で働く女性が「ロボットレディ」というキャッチフレーズで、メディアに取り上げられたりもしています。どの職種も男女の区別はありません。ただ、それでも男性の会社だというイメージは否めません。

山崎市長：とくに地元ではそうかもしれませんね。採用の窓口になる学校の先生がそうであるかは別

にしても、なんとなく、「こういう会社」であると、昔のままのイメージを引きずってしまいがち。ねじ製造というと、油まみれだとか、男っぽい職場だとか……。しかし今はまったくそんなことはないわけでしょう？

日東精工：はい。たとえばグンゼさんといえば繊維（衣料）というイメージがありますが、じつは今は、高機能繊維から医療、スポーツ分野まで幅広く事業展開をされています。当社のねじも世界最先端を行っていますし、ねじだけでなく、ねじ締めロボットや計測・検査機器まで製造、制御システム事業部の「ジオカルテ（小型地盤調査機）」はトップシェアを誇り、国内外から高く評価されています。

山崎市長：綾部の土地柄でしょうか、これまではおしとやかな方が多く、自分が前にと女性が少ないのですが、女性の意識も環境も変わってきました。綾部市役所は現在、女性の管理職は全体の20%ですが、女性の係長も増えていますし、5年後にはがらりと風景が変わっていると思います。おそらく御社もそうでしょう。男性女性の枠を超えて夢のある、やりがいのある職場が増えていけば

いいですね。

日東精工：そうありがたいです。今日はわざわざ当社までお越しいただきありがとうございました。

山崎市長：今日が初めて最後ということもなく、これからもぜひ、こういう場をつくっていただければと思います。ありがとうございました。



会の最後に山崎市長（前列中央）を囲んでの記念撮影

当社出席者	片山奈巳	人事総務部人事総務課 係長（前列左端）
	石原真理子	財務部経理課 係長（前列右端）
	佐藤 遼	人事総務部人事総務課（後列左端）
	山本知弥	経営企画室情報システム課（後列左から二人目）
	四方達也	研究開発部開発課（後列中央）
	上柿武志	生産技術部生産技術課 班長（後列右から二人目）
	藤田和也	財務部経理課（後列右端）

2017年11月末に日東精工本社にて「ふれあい出張市長室」を開催しました。

綾部市役所からは山崎善也市長ほか秘書広報課や企画政策課、商工労政課などから5名がご出席、当社からは7名が参加して活発な意見交換がなされました。病院や図書館などの公共サービス、教育問題などへの要望に対して、市長から丁寧な回答をいただきました。

たとえば、人口減少、少子化で生徒数が少ないということは、きめの細かい教育ができるというように置き換えられる。実は綾部市の学力は京都府内ではトップクラスであることなどをお教えいただきました。また市立病院の土曜診療が終了した不満に対しては、それまで土曜診療を行っていたのは京都府下では綾部市だけであった。それでも緊急医療の体制だけは土曜日でも維持しているというお話をうかがいました。

なお誌面の都合上、本項では雇用（Uターン・Iターン）ならびに女性活躍に絞って掲載。出席者の発言を整理し、市長と日東精工という形で一元化しています。

当社グローバルCSR活動が JIAECの機関誌に紹介されました

JIAEC（公益社団法人日本・インドネシア経済協力事業協会）は、1968年の設立以来、50年間、日本の上場企業や地方自治体にインドネシア人の技能実習生を派遣するなどの活動を通して、両国間の経済交流の懸け橋となっています。当社日東精工も、インドネシアに現地法人NAI社があることから、同協会会員としてその活動をサポートしています。実習生が技能習得だけでなく、地域住民と触れ合うことで国際文化交流にもなればと願っており、その活動の様子（技能実習生が当社本社のある綾部市の綾部天満宮の秋季大祭に参加）が、JIAEC発行の機関誌「JIAEC NEWS 2018年1月号」で掲載、紹介されました。



機関誌「JIAEC」1月号表紙（上）と掲載記事

在アメリカ総領事館で当社の ねじ締め技術をアピール!

在アメリカ ナッシュビル総領事館では、毎年、「天皇陛下誕生日祝賀レセプション」を開催、天皇の誕生をお祝いし、地域居住者への叙勲式を執り行いながら、政府高官や州知事などを招いて在留日本人、日系企業、日系各種団体と交流のある人々との親睦を深めています。2017年も12月11日に開催され、アメリカ現地法人「NITTO SEIKO AMERICA CORPORATION (NSA)」から四方亨社長をはじめ4名が参加しました。また会場内には当地域進出企業の製品を展示するコーナーがあり、当社も、トヨタ、日産、全日空、三菱電機（順不同敬称略）などの現地法人とともに出展し、ねじ締めの技術、品質安定を参加者（300名超え）にご紹介させていただきました。



40名以上がねじ締めを実体験。ケンタッキー州の経済開発省の方々は、「自動化と品質安定により同州で生産される製品の付加価値を高める効果がある」と非常に興味深くお話を聞いてくださいました

ねじとくん『あやべ大好きBOOK』を 綾部市の新成人へプレゼント

本ニュースレターで連載した「ねじのある街・あやべの魅力」を再編集した『あやべ大好きBOOK』が、ポプラ社から発売され話題になっています。綾部市役所からも、わかりやすく楽しいと高評価を獲得。本年1月7日開催の成人式では、約300人の新成人へのプレゼント用に購入いただき、また式辞でも山崎善也市長に同書をご紹介いただきました。キャラクター「ねじとくん」がナビゲートする構成なので、若い次世代に日東精工の製品や事業をより深く理解いただくことになり、また綾部市と当社との絆をアピールすることにもなりました。



ポプラ社発行
1,250円＋税

ねじ締めドライバの悩み・疑問を解決する 「ドライバのあれこれ」

理解しているつもりでも、いざ他人に説明しようとすると「あれ、これで大丈夫だったかな？」と少し不安になることがあります。当社ホームページでは、ねじ締めドライバの悩み・疑問を解決する「ドライバのあれこれ」を紹介しています。またYouTubeにて動画「ねじ締めシステム」も公開。ふだんは見るできないねじ締め機の内部をCGで再現しました！ 基本的なことをここでおさらいして、ねじやねじ締め機の魅力や大切さを多くの方に広げていければと思います。



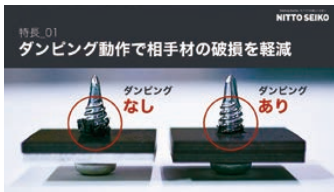
ブログ
「ドライバのあれこれ」



YouTube
「ねじ締めシステム動画」

「第8回クルマの軽量化技術展」に出展しました。

1月17日から19日まで東京ビッグサイトで開催された「第8回クルマの軽量化技術展」に出展しました。当社3事業部の製品は既に国内外多数の自動車メーカーに採用いただいております、その最新技術をわかりやすく展示紹介。そして「位置補正カメラ搭載ねじロボ」(2017年10月に受注開始)や低トルク対応小型アームドライバ「AD030XY」(本展示会で



初公開)などの新製品もプレゼンテーションしました。

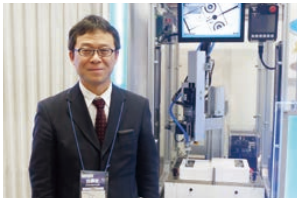
また「ドリリングスクリュー」と

これに対応する専用ねじ締め機も参考出展いたしました。軽量化素材としてスポットが当たる



CFRPやアルミ材、ハイテン材など異種材接合ニーズに応えるもので、下穴および雌ねじ加工が不要で締結コストを削減し、高度なダンピング動作により相手材の破損を軽減するものです。展示会などで多くのご意見をもとに今後最終製品化を目指します(PR動画をYouTubeで公開中)。

私が開発しました



「限られたソースのなかで、性能をバランスよく生かすのに苦労しました」(産機事業部技術部設計二課設計係 坂根 圭)。

当社では昭和40年に国内初の自動ねじ締め機を開発して以来、締結に関する省力装置を数多く手がけ、世界中の組立現場をサポートしてきました。製品の多種多様化が進むにつれ締付位置のズレが生じやすくなりますが、今般、手作業ラインにも簡単に導入でき、品質向上に大幅に貢献できる「位置補正カメラ搭載ねじロボ」を開発。2017年10月発売以降、既に多くの受注があり、高い評価をいただいています。

Yθ型ねじロボ®(直進+旋回)は、直行座標型ねじ締めロボットと比較して横幅が大幅にコンパクトで抜群の汎用性を実現。その機能に位置補正カメラを搭載することで対象ワークの締付位置のズレを補正し、最適なねじ締めを行うことが可能となり、締付品質を向上させます。



私のご案内しました



「昨年(2017年)入社の新入ですが、責任のある仕事を与えられてやりがいを感じています。一部上場企業だけど、ビビリしていません。のびのび仕事をさせてもらっています」(産機事業部海外販売部海外販売課 田中綾菜)。

本社のある綾部のお隣り大江町出身で、大学卒業後、地元へUターン就職ができ、かつ専攻した語学が生かせる仕事につけて、本人だけでなくご両親も喜んでいるそう。ふだんは海外からの受注対応が主業務ですが、今回の「クルマの軽量化技術展」にはご案内係(説明員)として応援参加。海外からのお客様へ得意の英語で当社の強みをプレゼンテーションしました。

ねじ大好き!

コラム

受験生応援ねじ、
今からでもご応募できます



当社のゆるみ止めねじ「ギザタイト」を特別加工して、ゆるみにくい=集中力持続=実力発揮のシンボルとしてプレゼントする受験生応援キャンペーン。今回はねじを納める袋を"赤色"に変更し、勝負強さ・活力・前向きさを後押しする応援グッズになっており、高校・大学受験だけでなく資格試験に挑戦される方にもおすすめです!

多くのメディアに取り上げていただき、たくさんのご応募をいただいています。既にお届けを終了した12月、1月分だけで約650件3500個以上の応募になっています。最終応募受付開始は3月1日なので、まだ間に合います。チャレンジする方へのプレゼントにもいかがですか? ご応募をお待ちしています。

受験生応援ゆるみ止めねじ「ギザタイト」の詳細はこちら▶





進化するのは当たり前、当たり前に磨きをかける！

リニアモーターカー受注に関するニュースが話題となりました。マイナスイメージなので少し残念ですが、新たな技術の創出、いわゆる「イノベーション」は、時代を動かす原動力。9兆円を超えるビッグプロジェクトといわれるだけに、今後の行方が気になりますね。

一方、リニアだけでなく既存の新幹線、こちらの実は日々、進化しています。私は移動に新幹線を利用することが多く、京都〜東京日帰り往復を2日連続でということも少なくありません。また群馬県の子会社に向向していたときには、京都〜東京を東海道新幹線、そして東京から上野へ山手線で移動し東北新幹線に乗り継ぐという、まさに新幹線のはしごでした。懐かしい思い出です。

さて、かつて京都〜東京は「ひかり」で3時間34分。それが今では同じ「ひかり」で約2時間半、「のぞみ」なら2

時間20分です。でも、この時間短縮が大きくニュースで取り上げられた記憶はありません。劇的に変わったとか、速くなったという印象はなく、気がつけば乗車時間が3分の1も短縮されているのです！

一般には、リニアモーターカーなどの次世代技術にどうしても目が向きがちですが、日々の新幹線技術改良にも目を瞞（も）るものがあります。一度の世界最速記録樹立で満足せず、記録をどんどん更新、まだまだ速くなるようです。前号でお話を伺った三菱電機 柵山正樹社長の言葉、「今日のベストは明日のベター」にも通じるものですね。

☆

一つひとつを確実に進化、深化させていくことは、会社の信頼力を高めていきます。当社ファスナー事業部、産機事業部、そして制御システム事業部にも、20年、30年、あるいは半世紀以上続くロングセラーの製品がありますが、

これらはまさに技術改良、進化の証でしょう。

本年2月、当社は創立80周年を迎えることができました。これは諸先輩方の知恵と努力の賜物であり、その延長線に今が成り立っている、我々の使命はさらに次へ、未来へとつなげていくことだと思っています。

当社を支えてくださるお客様に感謝を申し上げるとともに、今後も常にお客様のそばにいて、お客様満足度120

%を目指し進化・深化、技術改良を進めてまいります。

「御社とずっと付き合っておいたら、結局なんかすごいことになっていきますなあ」と言われ続ける、そんな会社でありたいと願っています。



東京都分市光町にある「新幹線資料館」は世界最速を樹立した新幹線試験車両一両を改装した小さなミュージアム。新幹線の技術史が学べます

連載②

あやべ ちょっと寄り道

あやべ三湯めぐり

いわゆる温泉町ではありませんが、市内に温泉施設が3つあります。「京 綾部ホテル」に併設された「大家族の湯」の露天風呂・天空の湯は眼下に由良川を眺められ、ここからの四季折々の風景が好きだというリピーターは多いよう。

上林地区の「あやべ温泉・二王の館」は泉質が評判で別名「美人の湯」とも呼ばれます。山里にあるだけに食材にも恵まれ、大自然に包まれて空気も美味。「栄温泉 うし乃湯」はその名の通り、京丹波の和牛の焼肉も楽しめる温泉施設、JR綾部駅から徒歩1分という好立地。綾部での商談を無事終えられたら、お湯に浸かってゆっくりするのもいかがでしょうか？

